

いつもみなさんと力あわせて

村議会議員 大名みえ子

大名議員の街頭演説を紹介します

2期 8年

# 1人の小さなつぶやき 多くの村民の願いを大切に

多くの皆さんのご支援で、議会へ送り出していたからこそ、8年がすぎました。私の活動をあたたかく見守り、応援していただきました皆様から感謝いたします。

私は村議として、一人の小さなつぶやきも、大勢の皆さんの願いも大切に皆さんと力をあわせてとりくみ、誰もが幸せになる村政をめざしてまいりました。そのことは、私たちの願いを村政に反映させる確かな力であること、を今、実感しております。

子どもの発熱、親もつらくなります

子育て真っ最中のお母さんたちが、急な発熱など子どもが病気になること親もつらくなります。お財布を気にせず病院に駆けつけることができたらどんなにいいか。と、子どもの医療費の無料化を求めて議会請願されたとき、私は村内の子育てサークルや保育園などお尋ねし、たくさんのお母さんたちの声を聞かせていただきました。この願いをどうしても実現させなければ、議会などでなんども取りあげ、他会派の議員さんとも協力し、就学前のすべてのお子さんの医療費を無料にするようができました。

障害者の願いが伝わり、利用料負担が7割軽減

障害を持つたお子さんのいらっしゃるあるお母さんが、必要なサービスを利用しているのに、障害者自立支援法がとられてから負担が大きく増えました。障害者にとってむしろ、自立を阻む制度です。とおっしゃったこと、私は胸が痛みました。弱者に冷たい政治は、どうして

議案 提出権

を使い、国に改善を求める意見書の提出を提案し、一般質問でも、障害者の生活実態をしっかりと取りあげました。利用料負担を軽減してほしい。そのために住民税の増税で増える村の収入をぜひ当ててほしい」と求めました。障害者の皆さんの願いが伝わり、障害者が負担するサービス利用料のうちの70%を村が助成することになりました。

高齢者医療制度の中止・撤回に力をつくします

皆さん、来年4月から始まる後期高齢者医療制度、こんなお年寄りいじめの政策があるのでしょうか。戦後の復興から苦労して今の日本社会を築いてきた大切な大切な高齢者の皆さんにこんな冷たい政治は絶対に許せません。私はこの制度の中止・撤回のため力をつくします。

皆さんのご支援で三たび議会で働かせてください。



明るい東海

2008年 1月号外

発行/日本共産党東海村委員会  
電話 283-3981 Fax 283-3983

日本共産党の政策をご紹介します。ご感想やご意見をお寄せください。北部地区委員会のホームページもぜひご覧ください。http://www.jcp-net.jp/ibahoku/

大名みえ子の主な活動地域



## 大名さんにご支援を

県議会議員 大内久美子



大名さんは、住民の願いにもとづいた提案で村政を動かしてきました。子どもの医療費無料化、介護保険や障害者の利用料負担軽減など、頼りになる働きです。弱者にあたたかく、まちがったことには厳しく、議会での役割はますます重要になっています。ご支援を心からお願いします。

ダイオキシン、有害排水、風評被害...

## 産廃焼却場ストップ

命と環境をまもるために

私たちの暮らしを脅かさないでほしい。農産物への風評がこわい。等々...村民だれもが心配しています。産廃焼却施設に反対する住民組織が活発に活動しています。日本共産党は、みなさんと力あわせて建設阻止に全力をつくします。

## 私も応援します

吉沼 輝(伊延在住)



大名さんはいつも一生懸命活動しています。議会のたびに報告会を開いてくれるので、村政がよくわかります。身近な問題から村全体の問題まで、なくてはならない議員です。

憲法を大切に...くらしと平和をまもる 日本共産党

# くらし・福祉、安全をまもる

日本共産党

## みなさんと力あわせて

日本共産党は村議団を先頭に、お寄せいただいた切実な願い実現のため、みなさんと力をあわせて全力をつくしてきました。

### 子育て支援、

### 介護保険利用軽減を実現

お母さんたちの願いで子どもの医療費無料化を来年の4月から小学生にまで拡大することができました。介護保険利用の負担軽減のため、新たに通所介護と通所リハビリ利用者への食費の助成、障害者福祉サービス利用への70%助成を実現しました。

### 原発の危険から

### 一貫して村民の安全に全力

村議会に共産党が議席を獲得して44年、原発などのトラブルやどんな小さな事故についても現地調査等をおこない、厳重な安全対策を求めると、一貫して原発の危険から村民の安全確保に全力でがんばってきました。

### 他会派にもよびかけ

### 議案提出権を行使して

共産党村議団は、他会派にもよびかけ、積極的に議案提出権を使い、この4年間に提出した議案は10件になります。議決されたものは次のとおりです。  
緊急地域雇用創出特別交付金制度の存続と改善を求める意見書(全会一致で議決)  
産業廃棄物(焼却)施設設置に関する意見書(全会一致で議決)  
障害者福祉充実にする意見書(修正議決)  
就学前医療費助成の所得制限を撤廃する決議(全会一致で議決)

### くらしが大変なとき 問われる議員のあり方

国民に負担を押し付ける自民 公明政治で、くらしが本当に大変になっています。こんなときだから、村民の立場に立って働く議員が求められます。

### 住民税増税

定率減税の廃止等で住民税が大幅に増税になりました。この条例案に共産党村議団は反対しました。国の政策になんでも賛成では村民のくらしは守れません。

### 議員の海外視察

村議会の特別委員会がおこなっている海外視察は多くの自治体で中止しています。共産党村議団は海外視察に参加せず、中止を強く求めています。

## 日本共産党のお約束

- 原子力発電所の震災対策、常設消防隊の整備・強化など安全対策の強化
- 子どもの医療費無料制度を義務教育終了まで拡大
- 「後期高齢者医療制度」の中止・撤回を要求
- 家族農業が営める施策と新規就農者への支援強化
- 所得の少ない世帯へ灯油代の助成



党・村委員長  
川崎あつ子  
村議会議員  
大名みえ子



### フレッシュ女性コンビ 日本共産党 2人の議員を

これまで日本共産党の2議席は、行政を手エックし、村民のくらし・安全を守る大きな役割を果たしてきました。議案提出権と議会運営委員会への参加は2議席によって得られます。フレッシュな女性「コンビ」は、きめ細かい目線で、地域の願いやくらしの声を届け、村政に新しい活力をつくります。皆様のこころを心からお願ひします。

元村議会議員 佐藤利彦

村民税増税(実質4億5000万円)分を村民のくらし支援に  
— 9月26日、党村議団が村長に申し入れ —  
1、子どもの医療費無料制度の年齢拡大  
2、介護保険の利用料助成の拡大  
3、高齢者医療制度による負担軽減支援